

平成30年7月19日

平成30年度 第5回銚子市下水道事業運営協議会 概要

- 1 日 時 平成30年7月19日（木）午前9時30分～午前10時55分
- 2 場 所 市役所3階庁議室
- 3 出席者 委員 8名（小濱委員、岡田委員、小倉委員、滑川委員、  
安西委員、徳元委員、和田委員、松尾委員）  
事務局 6名
- 4 概 要 下記のとおり

記

議題（1）下水道使用料の見直しについて

- ・下水道事業の現状及び料金値上げの趣旨について再確認
- ・前回会議における決定内容の確認
- ・前回会議の決定についての修正

※宮崎会長が欠席のため、副会長の小濱委員が議長を務める。

【質疑応答】

委員：31年1月に11.1%の値上げをして、その後、32年6月に値上げをするという2段階で決定してほしいという認識でよいのか。

2段階目の値上げの時期が平成32年6月になる理由は。

事務局：算定期間の使用料金の増収額を17.3%値上げした時と同じにするため、11.1%の期間の増収額と2回目改定後の増収額を計算して出した時期が平成32年6月となる。

委員：2段階目の率は何パーセントになるのか。

事務局：改定前と比較し、トータルで22%になる率。1回目が11%ならば2回目は10%前後となる。

委員：前回の決議では11%は2段階だが、2段階目の時期も率も未確定だという結論だった。「次が未確定」と「確定している」ではまったく異なる結論になる。

事務局：前回は2段階目の時期を明言できなかった、申し訳ない。

委員：私は11%の場合は33年までにもう一度上げるという認識でいたし、結果的に11%の方が高くなるという発言もした。もちろん次回改定の時期は決まっていないが。

委員：学校の再編で正式に七中がなくなることが決まり、豊里台では自分の子どもと一緒にここに住もうとは言えなくなってしまったという声が出てきている。豊里台は上下水道完備で、銚子でこれだけ住環境が整っているのは豊里台だけ。しかし下水道整備というメリットが料金改定によって負担となってしまう、ここに住みたいと思う人が減ってしまうかもしれない。直接人口増につながる可能性のあるこの地域への影響を考慮してもらいたい。

委員：前は次の率も時期も未確定ということで手を挙げた。「前回の決の修正を行う」ということは、前回の決定を拡大解釈するような議論で、まるっきり意味のない話。もう1回全部最初から、11%のセット、17%、22%で資料を出していただかないと話がおかしい。

事務局：そうすると、「22%」「17%」「11%で2段階」の3案となる。

委員：11%単独の第4案はないのか。値上げの影響を検証しないまま2回目を含めてしまうのは心配。どこにも手が挙げられない。

事務局：金額が足りないので、そこを下げることはできない。11%や他の率ですずっとということとはできない。

委員：11%の前提が変わり、今までの議論がリセットされてしまった。もう一度中身をじっくり見させていただかないと結論が出ない。

以上